

令和2年度 学校評価報告書（自己評価書・学校関係者評価書）

R2・6・20

中期目標	重点努力目標（評価項目）	学校関係者の感想・意見・要望
「この子」の輝く授業と教育活動の推進	<p>自ら学ぶ意欲、目標をもち努力することを重視し、関わりを大切にした授業および教育活動を創る。「知徳体」の総合的な向上をめざし、英会話の時間ではコミュニケーションの楽しさを十分味わわせる。</p>	<p>☆本日の授業参加での子どもの姿から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校が始まって1か月もたっていないのに落ち着いた学習態度が見られた。特に学校に入っただけの1年生がしっかりしていてびっくりした。 ・子どもたちはよい顔をして落ち着いている。 ・子どもの元気そうな姿を見て安心しました。 ・非常におとなしく授業をしている。 ・子どもがすごくおさなく感じた。 ・体力テストをしていたが体力をもう少しつけた方がよい。 <p>☆本日の授業参観での教師の姿から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスク姿で表情がわかりにくいですが、いい顔して子どもを大切にしている様子がよくわかる。 ・若い先生たちが多いけど若者らしく元気よくやっていたのでよかった。 ・子どもたちに常に笑顔で接する先生方であってほしい。 ・大変な時期ですががんばっておられる。 ・マスクをつけているがよく聞こえる声で授業を行っていた。 ・二人で教えるのは目が行き届いてよい。 ・個性のある授業、思い出になる授業をしてほしい。 ・たんぼぼは学年が色々で教えるのも大変だと思った。
	<p>発達段階に応じた生活規範や学習規律を徹底し、学年の重点に従って個に特化した支援を充実させる。</p>	
	<p>道徳の授業を要として、心の教育に努め、読書や体験活動、伝え合う力や体（健康）づくり、家庭学習などとも関連させ、生きて働く知識や道徳的実践力を高める。</p>	
安心安全に「この子」に過ごすことのできる居場所があり、教育環境の整備	<p>ペア学年や縦割り班活動などを生かし「この子」が互いの良さを認め合えるよう働きかけ、大切にしよう喜びを味わわせる。</p>	<p>☆本日の授業や校内を巡回したときに感じられる雰囲気や子どもの姿から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの学級も仲よく楽しくやっていると感じた。 ・とてもよかったです。 ・校内、教室共非常にきれいでした。 ・学年別に授業参観をするようにすると密を防げるのではないかと。 <p>☆行事や日頃の登下校の子どもの姿から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いに助け合いながら登校する姿がよく見られる。 ・これから判断が大変ですが、がんばってください。
	<p>平常より「この子」の心身の健康状態把握に努め、話をよく聞くようにする。また、いじめ・不登校・児童虐待等の予防、早期発見・対応のため、サポート委員会を機能させ、スクールカウンセラーによる相談活動などとの連携を図る。</p>	
	<p>家庭・園、地域と課題を共有し「この子」の問題に協力して対応する。また、生活安全、交通安全、災害安全の意識高揚を図っていく。</p>	

<p>学校・家庭・地域との連携の推進</p>	<p>「この子」が、人や環境との関わりを大切に、地域の歴史や文化について理解を深め、世界に思いを馳せて、よりよい生き方や交流ができる資質や能力の向上に努める【ホールスクールデザインシートの確認と修正、ESDカレンダーの活用と改良 出前講座等との関係性 支援学校の子どもたちとのつながり】。</p>	<p>☆日頃の教育活動をご覧になった感想など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩屋住宅信号の保護者の立ち番が復活してよかった。PTA役員の方がよくがんばってくれたと思う。
	<p>i ボランティア等の参画を得て、子どもの安全面の充実や学びの補充・深化をめざす。さらに「生き方あり方」を考えるキャリア教育の視点でつないでいく。</p>	
	<p>気持ちのよいあいさつや返事、相手を大切にする正しい言葉遣いをするよう率先垂範に努める。また、委員会、懇談会や通信などを通して、取組の伝達と協力をお願いを具体的に発信し、声を聞き取り活かしていく。</p>	
<p>資質向上に努め、保護者・地域から信頼される教師集団の育成</p>	<p>「この子」の輝く授業づくりを推進し、研修を重ねて総合的な教師力の向上をめざす。</p>	<p>☆日頃の教育活動をご覧になった感想とご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の中が整理整頓してあるクラスは、子どもたちにも落ちつきがある。前や横の棚の上などに、ものが散乱しているクラスは、なんとなく雑然としていて、子どもも落ち着かないと思った。 ・青パトで立っている時、先生方がよく挨拶してくれる。
	<p>教育課程のマネジメントをベースカとして効率的な仕事に努め、ライフワークバランスを実現する。謙虚に研修を深めて「チーム」に貢献し続け、安心感を醸成して新たな価値を生む。</p>	
	<p>家庭・地域との情報の送受信に努め、双方向の信頼関係を構築する。問題行動へは迅速かつ適切に対応して早期解決に努める。また、幼保小中、園との連携（パートナーシップ）の視点を大切にしていく。</p>	